

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL(052)916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2021.2.10
No.1239

発行責任者 林 達也 定価10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

【記念講演】
マイナンバー制度の現状と社会保障
第22回あいち社保学校

日時：3月7日(日)13時開会
場所：保険医協会伏見会議室
(名古屋市・伏見) ZOOM 参加可能!
★申し込みは愛知県本部まで

組合が強くなり大きくなる春に

県内単組が大いに交流 あいち組織集会を開催

春の組織拡大月間に向けて、県本部組織集会が2月6日、名古屋市・労働会館で開催され、仲間を増やすための知恵と工夫、そして失敗や悩みを単組同士で共有し、深め合いました。

16単組、県本部、建交労も含め、38名が参加しました。



リモートでの分散会(下写真以外)、リアルでの分散会(下写真)

平野書記次長の基調報告では、「①コロナ禍のもと、「何ができるか」「どのようにすれば実現するか」②すべての単組が増勢・新規採用者全員加入に向けた構えを持つ③組合活動が見えるよう、取り組みを組織内外に伝えよう④非正規職員の不安や悩み、要求に応えるために組合に迎えよう、など提起しました。

特別報告では、これまで組織拡大や組織強化の取り組みで、いろいろ工夫していることなどの経験が5人から話され、全体で共有しました。

★碧南市職の畠山和也さんは、職場でニュースを配布するなど役割を持った人を増やし定着化を図ることで、執行委員が2名増えるなど、組合活動に関わる人を増やす取り組みで組織強化につなげていると報告。



★犬山市職労の山田耕平さんは、昨年4月の新人組合説明会がでなくなっている中、説明資料のリニューアル化などの工夫と執行委員や職場からの声かけで100%加入を達成したこと、秋の職場集会の取り組みについて報告しました。



★犬山市職労・山田耕平さんで手渡しして共済を見える化するなどの取り組みについて報告。



★名古屋市職労の山岡弘規さんは、「コロナに配慮しながら100%加入をめざしたい」、「職場と連携をとって頑張りたい」、「少人数であっても、しっかりと組合の説明を寄せたい」など感想が寄せられました。

★名古屋市職労の山岡弘規さんは、春の新規採用者加入拡大に向けて、「コロナに配慮しながら100%加入をめざしたい」、「職場と連携をとって頑張りたい」、「少人数であっても、しっかりと組合の説明を寄せたい」など感想が寄せられました。

和さんは、新規採用者への組合アピールの手段として、紙芝居やDVD動画を活用した経験と効果、今後は映像化、ネットやSNS配信など時代に即した方法を学び合いたい、共有したいことと話しました。

『改めて組合の必要性について勉強できた』 若手執行委員がシナリオ担当



碧南市職は、「組合について新人組合員にきちんと説明する責任がある」と執行委員会で話し合い、昨年春にできなかった新入組合員への説明会を1月に実施しました。

若手執行委員の兼子さんと中村さんがシナリオを担当しました。「シナリオをつくるにあたって、改めて組合の必要性について勉強できました」と兼子さんは振り返ります。



説明会の様子、講師を務める兼子さん

中村さんは、「説明会では、同じ職種の先輩執行委員も同席し、先輩の体験談をたくさん聞いていたのが印象的でした。今年度は先輩・同期と交流する機会が少なく、職場の悩みや不満を話せる場は本当に大切だと改めて感じました」と実施した感想を話しました。

兼子さんは、「説明会では、同じ職種の先輩執行委員も同席し、先輩の体験談をたくさん聞いていたのが印象的でした。今年度は先輩・同期と交流する機会が少なく、職場の悩みや不満を話せる場は本当に大切だと改めて感じました」と実施した感想を話しました。

「言いたい劇場」

小菅りや子



みんなの安心 自治労連共済

ふつうに暮らして 1カ月いくら必要？

家計簿調査 スタート!!

青年部のみんなで がんばります!!

刀根 拓未さん (名古屋市職労・入庁4年目)



普段は、3食ともコンビニや外食で済ませていますが、この月は手作りお弁当に挑戦していきたいと思っています!



自治労連では、愛労連とともに、「8時間働けば、普通に暮らせる」社会をめざし、全国一律最低賃金制度と時給1500円の実現に向け運動しています。

毎年、最低賃金で生活し、その低さを実感して大幅賃上げを求める根拠とする生活体験を実施していますが、今年は、コロナ禍で免疫低下や体調不良を避けるため、「せいたくではない、普段の生活で1カ月にいくら必要か？」を調査します。

自治労連からは69人が参加し、その多くが青年組合員です。

名古屋市職労青年部では、常任委員12人全員がエントリーしました。刀根拓未さん(右写真)は、昨年の最賃生活体験の集計結果などを見て興味を持ちました。

また、青年部常任委員メンバーで、家計簿調査に参加している期間、グループラインで、日々の感想や作った料理のことなどを順番に報告する取り組みをしています。「みんなで励まし合いながら、そして楽しみながら家計簿調査をやりとげたいと思います!」と意気込みを話します。

今はコロナ対策に全力を尽くすとき

名古屋市立西部・東部医療センター 市立大学附属病院化は延期を

2月3日、「名古屋の公的医療を守る市民の会」(自治労連、医労連など)は、名古屋市立西部・東部医療センターの今年1月中旬からの



名古屋市伊東副市長に署名を手渡す要請団 = 2月3日、名古屋市役所

市大病院附属化の延期と、市立病院の機能存続を求める署名を、名古屋市に提出しました。

短期間で個人署名3,376筆、団体署名158筆を集約。県本部では、病院のある単組を中心に取り組み、また、中小業者の団体が機関紙に折込んだり、年金者組合の方がポスティングした地域も。市民からは、「なぜ市民に知らせないのか」「今は、コロナ対策に集中するとき」と声があがっています。

会では、引き続き2月末まで集約し、3月はじめに提出します。県本部では、県内単組に改めて団体署名の取り組みを呼びかけています。

健康を保てる食事とは？

家計簿調査スタート集会

家計簿調査開始に先立ち、1月26日に開催されたスタート集会で、名古屋



食事バランスガイド(上写真・農林水産省HPより) 磯部貴恵さん(右写真)

健康を保てる食事とは「何を、毎日の「食事」から生計費を考える貴重な場となりました。

「食事バランスガイド」(図参照)は、5つの料理グループ(主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物)のどれかが足りないといふ、コマが倒れる仕組みです。

磯部さんは、「食べる物を買う」食費11体を作る物という意識を持って、食費を考えてほしい」と話しました。

バランスの良い食事で健康を維持できる賃金の確保が必要です。

仲間の声

★今年度は、コロナ対応に始まり、まだまだ渦中に居ます。長期戦になり疲れもあります。が、みんなで乗り切りたいです。(林祐里子・春日井市職労) ★第1237号に地元のものほいパークが掲載されとても嬉しいです。ものほいパークは職場から10分くらいの所にあり、見どころいっぱい動物園です。施設の子どもたちも、お散歩感覚で出かけ楽しんでいきます。(中島典子・自治体一般) ★1月は、いろいろ起った月でした。コロナの拡大は、収まる様子が

ないですが、アメリカトランプ政権の交代、核兵器禁止条約の発効など、世界は動いています。日本も、国民に目を向ける政治に動いてほしいものです。(鈴木美保子・名古屋市職労) ★岩倉市には、ポルトガル語の通訳が3名います。岩倉市に多く暮らすブラジル住民のサポートを行っています。ただ最近ばかりです。ただ最近ばかりです。ただ最近ばかりです。

裕子・岩倉市職)

徳川家の雛まつり

尾張徳川家の雛まつり

特別展 2月6日(土) 4月4日(日)

徳川美術館

観覧料 / 一般1400円 高大生700円 小中生500円

開館時間 / 午前10時~午後5時(入館は午後4時半まで)

休館日 / 月曜日

TEL / 052-933-5626

〒461-0023 名古屋市中区徳川町 ●基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分 ●JR中央線「大曽根」下車 南口より徒歩10分